

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)		相模原市立中学校給食検討委員会(第3回)				
事務局 (担当課)		学校保健課 電話042-769-8283(直通)				
開催日時		平成25年9月3日(火) 午後1時~2時50分				
開催場所		相模原市役所第2別館 5階 教育委員会室				
出席者	委員	13人(別紙のとおり)				
	その他	0人				
	事務局	4人(学校保健課長、他3人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	3人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1 開会 2 あいさつ 3 議題 (1) 前回の会議結果について (2) アンケートの実施について (3) その他 4 閉会				

## 審 議 経 過

主な内容は次のとおり。( は委員の発言、 は事務局の発言)

### 1 開会

### 2 あいさつ

吉岡会長あいさつ

### 3 議題

#### (1) 前回の会議結果について

資料1に基づき、事務局より説明を行い、質疑を行った。

特に、質疑なし。

#### (2) アンケートの実施について

資料2から資料8に基づき、事務局より説明を行い、質疑を行った。

アンケートの内容について、追加したほうが良いこと、課題を解決する糸口となるようなアンケート、表現や内容の修正、実施方法として学校現場や保護者の立場で問題があるのかなど、各委員から発言をいただきたい。

#### (生徒用)

中学校給食を「申し込まない理由」と「どのように工夫・改善されれば申し込もうと思うのか」については、設問内容があまり変わらない。

食べてない人が申し込まない理由などを答えた後の設問で、中学校給食の量や味への設問になっているので、アンケート全体のつながりが良くない。今の設問順では、食べていない人も答えるように思ってしまうので、設問の順番を入れ替えたほうが良い。

「中学校給食に求めること」についての設問は、選択肢が大人を対象としたものを感じるなので、中学生らしいほうが良い。

牛乳の飲用についても、フルーツ牛乳やコーヒー牛乳など、もっとバリエーションを入れて、項目を増やしてもいい。

生徒には読めない字もある。例えば、「お伺いします。」は、「答えてください。」の方が生徒にとっては分かりやすい。

中学1年生が読める範囲の表現で、国語の先生に内容を見てもらうことを考えてもいい。

デリバリー給食という表記では、生徒は分かっていないと思う。デリバリー給食とするのであれば、デリバリー給食の意味を書いてあげる必要がある。その他の漢字についても、場合によっては、ルビをふる必要もある。

回答内容によっては、次の問題がかなり先に飛んで回答するようになっているので、生徒に理解できるかどうか、設問の流れを考えたほうが良い。

デリバリー給食と中学校給食という表現があるので、どちらかに統一したほうが良い。

時間はかかるが担任が読み上げて行う方法もある。

性別の選択肢は、番号をなくすか、記述させたほうが良い。(保護者も同様)

朝食を食べない理由の選択肢として、「太りたくないから」とあるが、直接的な表現なので、変えた方がいい。

中学生の食事への意識について、楽しく食べるという選択肢は、イメージがわきにくい。

中学校給食について「満足していない理由」の選択肢のうち、「入金が面倒である」については、生徒用になくてもいい。また、選択肢に「味が薄い」があるので、「味が濃い」を加えたほうがいい。

健康状態や日ごろの食事への意識などの設問があるが、アンケートによって活用することがあるのか疑問である。

給食を申し込む日の設問については、生徒と決めている人が多いのではないか。

「食べたい献立やきれいな献立があるか」の設問については、小学校で好きだった献立などにしたほうが答えやすい。

性別を記入させるより、番号で答えるのが統計学上良い。「太りたくない」などの選択肢についても、直接的な表現でかまわない。

アンケート項目も、分かりやすいもので、生徒を子ども扱いにするのは良くない。

喫食率を考えるのであれば、健康状態や朝食の状況など、家庭生活の内容の設問が不要になる。

健康状態などの設問については、給食を切り口として、生徒の穏やかな健康を目指すもので、食育へとつながっていく。

起床時間などは、時間を書かせるのではなく、何時から何時位の選択肢にした方がいい。

#### （教職員用）

教職員にも、「生徒にとっての給食時間の長さはどうか」という設問を加えてもいい。

中学校給食を「申し込む理由」及び「申し込まない理由」の設問については、教職員の立場ではなく、「生徒にとってどうであったか」としたほうがいい。

教職員にも食べてもらいたいという意図で、こうした設問を設けたものである。

教職員は、基本的に給食を食べているのかと思っていた。教職員の喫食状況は、

非常勤の先生がいるので、システム上反映できない。どのくらいの喫食状況かは、出していない。

#### （保護者用）

食育についての選択肢については、表現が分かりにくいので、もっと分かりやすい言葉に変えたほうがいい。選択肢の項目を分かりやすく整理する必要がある。

中学校給食の試食についての設問は、「試食会などで試食したことがありますか」に変えたほうが分かりやすい。

教育委員会で給食便りを発行しているので、「給食に関する情報を見ているのか」という設問を加えたほうがいい。（生徒についても同様。）

(全般)

アンケート結果をクロス集計までだけで終わらせるのではなく、多変量解析まで行い解析結果をどのように見ていくのかまで、効果的に行う必要がある。

アンケートの項目については、現状の内容で使えるところは残し、表現方法や設問順を整理してほしい。

デリバリー給食という言葉を使わず、中学校給食で統一した方がいい。

アンケートの結果をクロス集計し、どういう傾向にあるか喫食状況などを解析し、3月までに提案していきたい。

(アンケートの実施方法)

生徒のアンケートは、ボリュームもあり、時間がかかる。

アンケートの実施方法として、自宅に持ち帰る留め置き方とその場で書いてもらう集合法がある。

プレ調査を実施することはできないか。出来上がったアンケートを何人かの生徒に回答してもらい、どのくらい時間がかかるか実際に行ってから、全校へのアンケートを実施したほうがいい。

アンケートを実施する学年の割合はわかるが、業者別ではどうなっているのか。

ブロックごとに学校数が違っているため、そこまでは考慮していない。また、学校の規模によっても違いがある。

(今後のスケジュール)

アンケートの実施方法については、プレ調査を実施し、校長会で事務局が説明する。

各学校での実施方法については、学校の状況に合わせることにする。できるだけ集合法で検討していただき、学校の時間内でどうしても実施できない場合は、家庭に持ち帰って行う留め置き法で実施する。

今回のアンケートを基に、内容については、一部修正し、会長・副会長一任ということで、事務局と最終案を作成していく。

委員のご意見を基に、削除・修正、表現内容やアンケート全体の流れなどを再度確認し、モデル的にどのくらい時間がかかるのか、生徒に負担がかからないものとしていきたい。

(3) その他

特になし

4 閉会

以上

## 相模原市立中学校給食検討委員会委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	吉岡 有紀子	相模女子大学栄養科学部	会 長	出席
2	伊与 亨	北里大学医療衛生学部		出席
3	小嶋 理史	相模原市立小中学校 PTA 連絡協議会		出席
4	小関 和代	相模原市立小中学校 PTA 連絡協議会		出席
5	堺 千里	相模原市立小中学校 PTA 連絡協議会		出席
6	水野谷 珠世	相模原市立小中学校 PTA 連絡協議会		出席
7	高原 麻美	相模原市立小中学校 PTA 連絡協議会		出席
8	黒瀧 直行	新町中学校	副会長	出席
9	北村 正弘	青野原中学校		出席
10	小泉 勉	旭中学校		出席
11	山本 真	相武台中学校		出席
12	朴木 昇	弥栄中学校		欠席
13	高橋 純子	城山学校給食センター		出席
14	高橋 陽子	公募		出席